



サイエンスカフェ

Science Café

サイエンスカフェとは？
(Science Cafe, Café Scientifique)

九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンスカフェ』を開催しています。

一般の方々が科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に広がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。

第42回 サイエンスカフェ @九工大情報工学部

●日時：2017年 9月29日(金)
18:00 ~ 19:30

●場所：九州工業大学・飯塚キャンパス
ラーニングアゴラ棟 飯塚市川津 680-4

●テーマ：「自然言語処理：言葉を工学する」

●ゲスト：しまだ かすたか
嶋田 和孝氏
(情報工学研究院
知能情報工学研究系 准教授)

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 必要（定員20名）

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電話：0948-29-7509（平日10:00~17:00）

メール：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp



ゲスト紹介

しまだ かすたか
嶋田 和孝氏
情報工学研究院
知能情報工学研究系
准教授

人間同士がコミュニケーションを取るときに一番重要な手段は言葉です。たとえば、人間とロボットが何かやりとりをする際も、そのロボットが言葉を正しく理解できなくてはなりません。言葉を工学的に解析・生成する技術を自然言語処理と呼びます。

今回は自然言語処理の基本的な内容から、世の中にある自然言語処理の応用事例などについて説明、解説します。

